

BioJetソフトウェア動作環境

項目	仕様	
PC	OS	Windows 8.1 Update Enterprise以降
	CPU	デュアルコア、2GHz以上
	本体メモリ	RAM 2GB以上
	グラフィックボード	RAM 512MB 以上のハイエンドグラフィックボード
	データストレージ	内蔵HDD 300GB以上、CD-ROM
	USBポート	4ポート以上 (USB2.0 or USB3.0)
	電气的安全性	JISC 6950-1
モニター	EMC	CISPR 22/CIARP24またはVCCI適合
	解像度	1280×1024ピクセル以上
	表示	カラー表示
	電气的安全性	JISC 6950-1
	EMC	CISPR 22/CIARP24またはVCCI適合

構成

ステッパー	テンプレート	操作用アーム	専用スタンド
			
エンコーダー	ソフトウェア	専用ケース	モニター・PC
	 PACS対応機能		

仕様・外観については、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

販売名：BioJetソフトウェア
 一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム
 認証日：2015年9月7日
 認証番号：227A F B Z X00086000

Takai
 タカイ医科工業株式会社

製造販売元
 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-25
 TEL. (03)3814-7761(代表)
 FAX. (03)3814-9694
<http://www.takai-hs.co.jp>

MTT

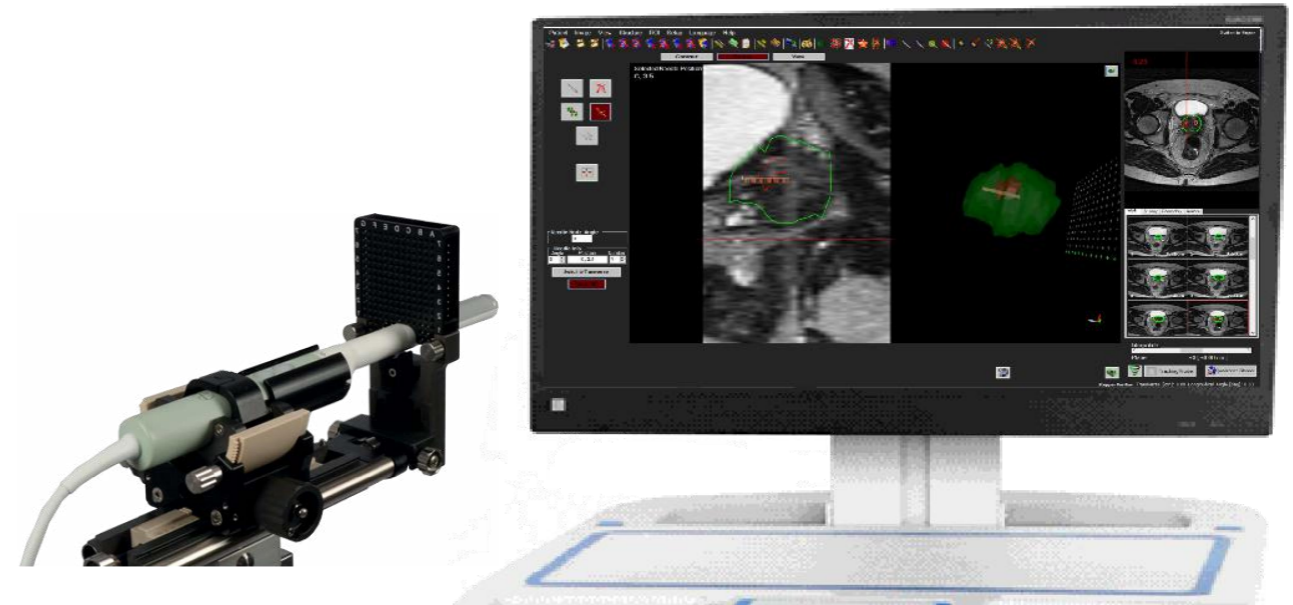
海外製造元
 Medical Targeting Technologies GmbH
 Kanalweg 7/8 21357, Barum, Germany

販売店記入欄

THS-PL-20220318

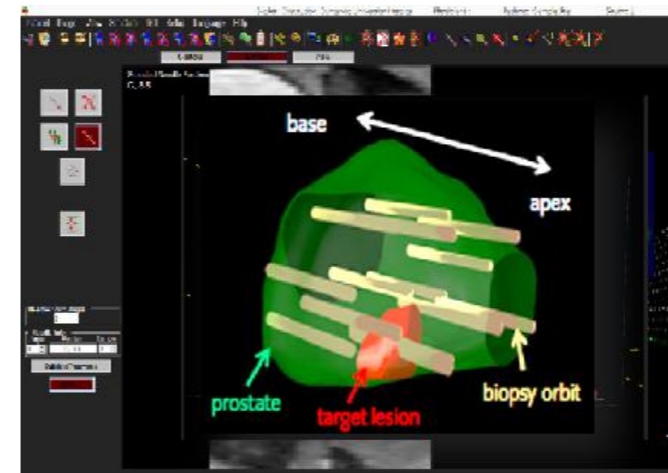
BioJet

MRI/TRUS 3D-融合画像ガイド下経会陰式前立腺生検システム 3D Real-Time MRI/US Prostate Image Fusion Biopsy System



Key Features

- 放射線科と泌尿器科の間の連携が容易
- 輪郭の補正の手間なくリアルタイムで正確に安定した生検
- PACS接続可能
- 経直腸的および経会陰的生検可能
- 正確な前立腺マッピングをサポート
- 多目的ステッパー/スタビライザー前立腺追跡システム
- HIFUシステムのソフトウェア統合によりデータ転送可能
- リアルタイムの3Dモデルで表示、リアルタイムで前立腺輪郭修正可能
- ROIと生検位置に関するすべての重要な情報が自動的に記録され
 詳細な生検レポートが可能
- 短時間で生検可能
- 発見の精度アップindolentがんの過剰診断、臨床的に意義のあるがんの見逃し問題が減る



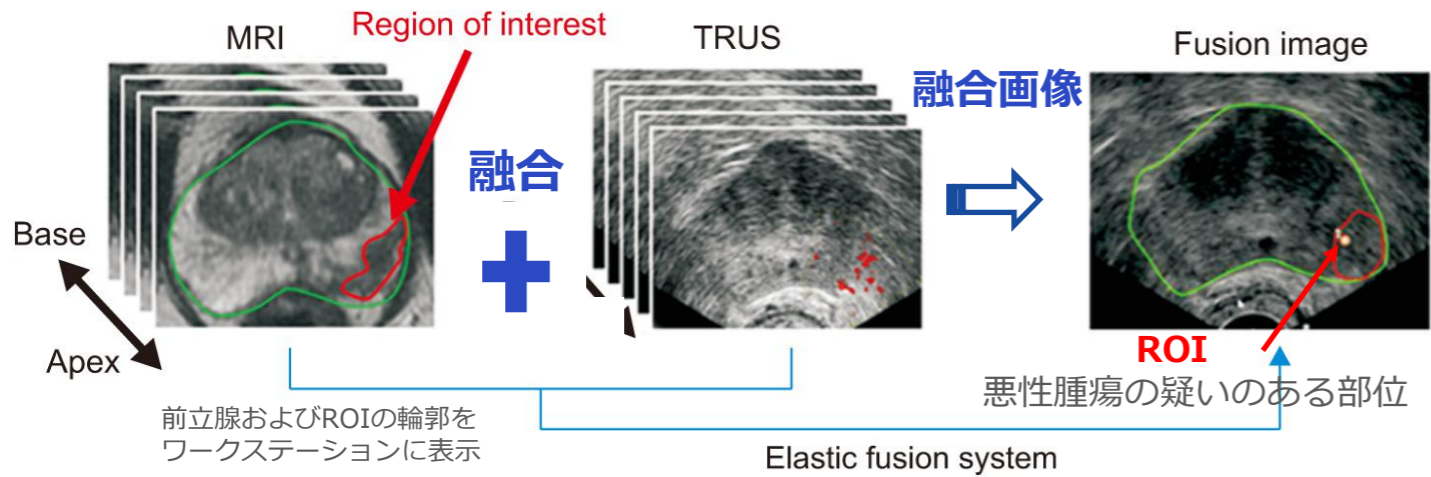
3D-リアルタイムフュージョン により高い再現能力を実現

Takai
 タカイ医科工業株式会社

2022年4月1日より
 保険収載されました
 診療報酬区分：「D413 前立腺針生検法」

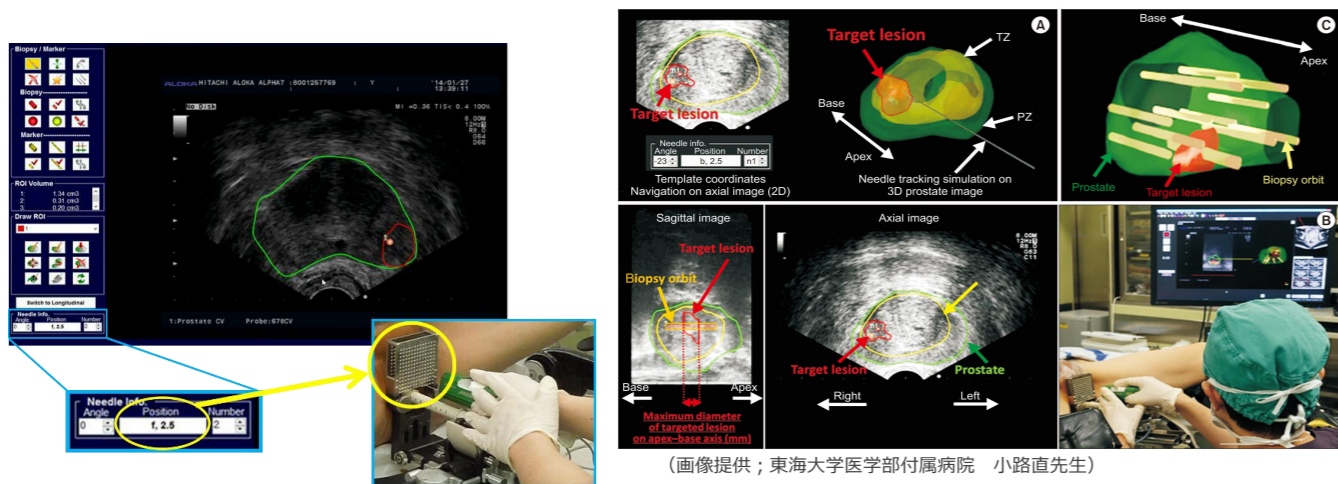
ROI (Regions Of Interest) を3Dマッピングし 正確な前立腺標的生検を可能にする リアルタイムナビゲーションソフトウェア

BioJetソフトウェアは、MRI画像データと超音波画像を融合し、前立腺生検を3D-リアルタイムでガイド可能なナビゲーションソフトウェアです。あらかじめ撮影されたMRI画像を、BioJetソフトウェアに取り込み、悪性腫瘍の疑いのある部位をマーキングし、その情報をリアルタイム超音波画像上に表示することができます。実際に生検した部位をリアルタイムで確認しながら、その生検結果を記録することが可能です。



3Dリアルタイムガイド機能イメージと生検マッピング

BioJetソフトウェア上で標的部位を選択すると、それに対応するテンプレートの座標が表示されます。その座標に従って穿刺をすると、標的部位へ生検ができます。超音波のプロープはステッパにより固定されているので、術者は安定した状態でより正確に穿刺することが可能です。



(画像提供; 東海大学医学部付属病院 小路直先生)

(A) 最初に、オペレーターはワークステーション上の目標点をマークします。会陰テンプレートの座標がモニターに表示されます。生検シミュレーションは、前立腺の3Dモデルで実行されます。(B) 会陰テンプレート支援以下で生検を行う。

3Dイメージングガイド下でより正確な組織診断が可能に

BioJetソフトウェアは標的的生検をサポートします。BioJet生検用テンプレートを用いて、MRI画像で悪性腫瘍の疑いのある部位を狙って生検することで、より正確な組織採取が可能になります。その結果、患者様への過剰な生検を回避することができます。

局在診断から局所治療 (Focal Therapy) へ

MRI画像3次元モデルとリアルタイム超音波画像の融合により、ROIの位置を立体的に認識することができます。BioJetソフトウェアによって悪性度の高い組織の局在診断が可能になれば、Targeted/Focal Therapyへ応用の可能性が広がります。

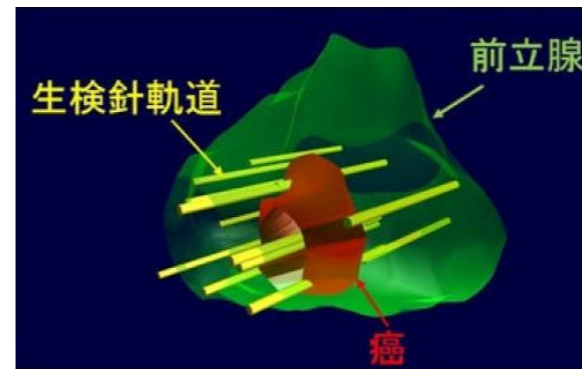
高い汎用性

超音波プローブを支えるステッパに専用レセプタクルを装着することにより、複数の超音波診断機メーカーのプローブに対応できます。

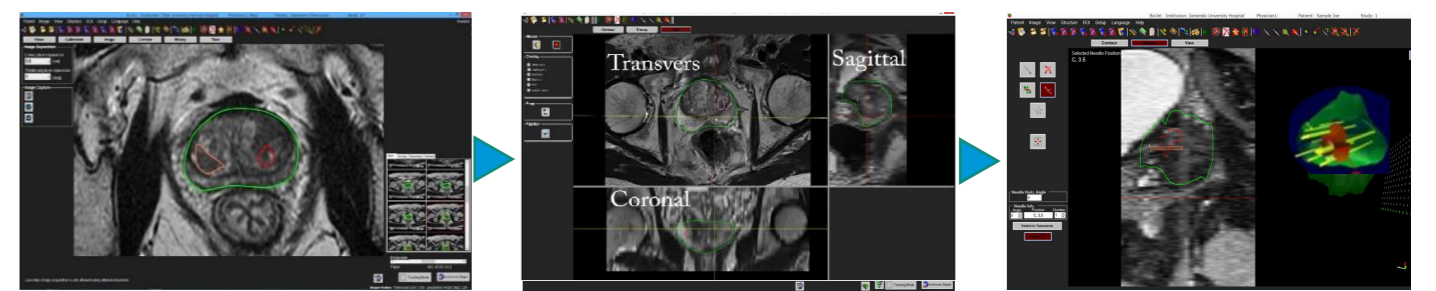


正確な3D ROIマッピングから 正確な穿刺へ誘導

搭載された高性能エンコーダーにより、正確な軌道をとることができるようにガイドします。また、ワンタッチで診断画像を3D化する機能が追加され、ナビゲーション性がさらに高まりました。



BioJet画像融合機能のワークフロー



1. MRI上で前立腺とROIを描出
2. 描出イメージとリアルタイム画像を融合、シンクロナイズング
3. 3Dイメージ上にROIを標的とした生検

尖部腹側病変にBioJetシステムの使用例



(画像提供; 東海大学医学部付属病院 小路直先生)